

報道機関各位

令和元年(2019年)6月25日(火) 配付

| | |
|-------------------------------|---|
| 項 目 | 北海道グローバル人材育成キャンプ事業について |
| 配付資料 | 実施要項 |
| 内容及び 報道に当 たつての お 願 い | <p>1 事業の趣旨 地球規模の視野と地域の視点を併せもった北海道のグローバル化を担う人材の育成を目的に、オール・イングリッシュで課題解決型や発信型の活動に取り組むことにより、国際社会において主体的に行動できる資質・能力を育成するとともに、異なる言語や文化、生活に対する理解と関心を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>2 日時及び会場等 (1) 開催期間 令和元年8月5日(月)～8月7日(水) (2) 開催場所 ネイパル北見 (3) 主催 北海道教育委員会</p> <p>3 参加者 道内の高校生30名程度</p> <p>4 主な活動内容 (1) ALT等の外国人、高度な英語力を活かした職業人とのコミュニケーション活動を多く取り入れる。 (2) プレゼンテーションソフトやインターネット等を活用した発信型の活動を取り入れる。</p> |
| 担当窓口 | 北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課長 遠藤 直俊 (担当 高等学校教育指導班主任指導主事 佐藤 光洋) 【電話】0152-41-0758 【Fax】0152-43-0200 |

北海道グローバル人材育成キャンプ事業 実施要項

(平成31年4月9日高校教育課長決定)

1 事業の趣旨

地球規模の視野と地域の視点を併せもった北海道のグローバル化を担う人材の育成を目的に、オール・イングリッシュで課題解決型や発信型の活動に取り組むことにより、国際社会において主体的に行動できる資質・能力を育成するとともに、異なる言語や文化、生活に対する理解と関心を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

2 主催

北海道教育委員会

3 協力

北海道大学、北海道教育大学

4 主管部署、関係教育局

(1) 主管部署

高校教育課

(2) 関係教育局

石狩教育局、後志教育局、渡島教育局、檜山教育局、留萌教育局、オホーツク教育局、十勝教育局、根室教育局

5 実施施設及び実施期間等

| | | | |
|-----|--------|-------------------|------|
| 道 央 | 第二水産ビル | 8月6日(火)～8月8日(木) | 日帰り |
| 道 南 | ネイパル森 | 7月29日(月)～7月31日(水) | 2泊3日 |
| 道 北 | ネイパル北見 | 8月5日(月)～8月7日(水) | 2泊3日 |
| 道 東 | ネイパル足寄 | 1月7日(火)～1月9日(木) | 2泊3日 |

6 運営組織及び業務分担

(1) 高校教育課

- ・全体総括（総合調整、実施要項等の策定、実施施設・関係教育局との連絡調整、参加者の募集）
- ・ボランティアスタッフの配置、連絡調整（ALT、ゲストスタッフ（大学教員など））
- ・北海道大学、北海道教育大学との連絡調整（留学生や教育大生への依頼協力）
- ・広報活動（パンフレット作成、道教委ホームページ活用、報道対応）

(2) 関係教育局

- ・キャンプの企画運営（実施内容の検討・作成、教材・手引きの作成、参加申込に係る業務、会場設営、事業報告書等の作成、庶務・会計）
- ・ボランティアスタッフの配置、連絡調整（道立学校の外国語担当教員）
- ・講師の選定

(3) 実施施設

- ・関係教育局との連絡調整
- ・事業の運営補助など

7 参加対象及び募集人員

道内の高校生30名程度（各会場）とする。

8 事業の内容

(1) 事業の目標

- ・プレゼンテーションやディスカッション等の活動を通して、発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に北海道やふるさとについて発信できるようにする。
- ・多様な考え方ができる話題について、互いに意見を出し合ったり、情報の交換をし合ったりするなど、大学での授業や社会生活で活用できる英語力を身に付ける。
- ・海外と取引をしている企業経営者等との交流を通して、広い視野から国際理解を深め、北海道のグローバル化を担うリーダーとしての資質・能力を身に付ける。

(2) 参加条件

参加条件は、概ね次のとおりとする。

- ・英検準2級程度の英語力を有する者。
- ・北海道教育委員会が主催する交換留学に興味がある者。
- ・留学や海外大学進学に興味がある者。
- ・ALTや海外留学生、または、日本人同士であっても、3日間は全て英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲のある者。

(3) 主な活動内容

- ア ALTや留学生等の外国人、高度な英語力を活かした職業人とのコミュニケーション活動を多く取り入れる。
- イ プレゼンテーションソフトやインターネット等を活用した発信型の活動を取り入れる。
- ウ 各国の領事館や海外の学校等の協力を得て、外国や北海道の事情などについて意見交換する活動や、留学に必要な情報を調べたりする活動など、英語学習への動機付けを図る活動を取り入れる。
- エ 海外で事業展開している道内の企業家等との交流を通じて、地域の文化や産業を世界の人々に効果的に発信する活動を取り入れる。
- オ アンケートを活用し、参加者の英語力等の変容を把握する。
- カ その他の詳細な内容については、高校教育課が別に定めるものとする。

(4) 成果の発信

プレゼンテーションやディスカッション等の様子を撮影し、ホームページ等を活用して成果を発信する。

- ※ 参加者が特定できるキャンプでの様子を撮影した映像が新聞、テレビ、ウェブページに掲載されることを本人及び保護者が了承していること。

9 講師等

次の(1)～(4)の人選や配置に当たっては、高校教育課及び関係教育局が協議の上、決定する。

(1) 日本人教諭等

ア 対象・人数

公立学校の外国語を担当する教諭（以下「教諭」という。）及び指導主事から3～4名を配置する。

イ 主な役割

- ・各グループ全体の進行管理（グループリーダー）、及び外国人スタッフ、ボランティアスタッフ、専門家スタッフとの連絡調整
- ・参加者への学習活動・体験活動の指導、生活指導、安全管理
- ・研修プログラム及び教材開発
- ※ 関係教育局の外国語担当の指導主事は、研修プログラムの企画に参加するとともに、キャンプ中のプログラム運営の中心的な役割を担う。

(2) 外国人スタッフ

ア 対象・人数

道立学校のALT、市町村教育委員会のALT・CIR、地域在住の外国人などから配置する。

イ 主な役割

- ・参加者への学習活動・体験活動の指導（アクティビティリーダー）
- ・異文化理解研修プログラム等の講師
- ・研修プログラム及び教材開発の補助

(3) ボランティアスタッフ

ア 対象・人数

大学生や留学生などから配置する。

イ 主な役割

(ア) 大学生

- ・上記(1)及び(2)の活動補助
- ・参加者への学習活動、体験活動及び日常生活の支援
- ・研修プログラム及び教材開発の補助

(イ) 留学生、地域在住の外国人

- ・上記(1)及び(2)の活動補助
- ・参加者への学習活動、体験活動の支援
- ・異文化理解研修等の講師

(4) ゲストスタッフ

ア 対象・人数

大学教員や各国領事館職員など高度な英語力を活かした職業人など海外生活経験者から配置する。

イ 主な役割

- ・英語によるコミュニケーション能力育成のためのワークショップ等の講師
- ・異文化理解研修等の講師
- ・英語力を活かしたキャリアに係る講演・講習の講師
- ・研修プログラム及び教材開発に係る助言

10 経費

本事業に要する経費は、外国人スタッフ、ボランティアスタッフ及びゲストスタッフの旅費等について、予算の範囲内で措置する。

11 成果・課題の検証

本事業の成果・課題の検証のため、関係教育局等の担当者や英語担当指導主事、運営に携わった教員等による全道運営協議会において、本事業の成果の確認や課題への対応策について協議を行うとともに、各学校で実施可能なプログラムを検討する。

また、グローバル人材の育成に係る庁内会議において、事業の概要説明及び報告を行う。

12 その他

この要項で定めるもののほか、本事業の推進に必要な事項については、高校教育課長が別に定める。